

2017年3月12日(日)

西野こども食堂kaokaoの場合



顔と顔のみえるつながりの中で、子どもたちが安心して過ごし
楽しくご飯を食べられる場をめざしています
たくさんの笑顔に出会えますように…
子どもたちのための地域食堂「kaokao (かおかお)」です

西野こども食堂 kaokao (かおかお)

堀川 淳子

毎週水曜日オープン!

午後2時～8時 食事は5時～



Kaokaoは、札幌市 西区 にあります



Kaokaoは 西区の西野 にあります



西野は小学校にほど近い 落ち着いた住宅地です





生活環境の貧困（地勢的な外からの分析）

イオンSCまで3.5キロ

- ・楽しいショッピングモールと便利なコンビニ
 - ・小さなスーパーとドラッグストア 商店街も職住分離
- 広がりとお行きのない子どもの生活圏

日中は親しい大人のいないまち

- ・友達と同じ年齢の子どもだけ
- ・核家族

逃げ場のない人間関係



Kaokaoは3者の巡り合いで生まれました

- こども食堂設立呼びかけ人 **子どもの居場所を考える会**
調理・こども食堂並びに子ども問題に関する基本コンセプト
- 場所と地域食堂のノウハウの提供 **NPO法人ぐるーぽ・ぴの**
西野厨房だんらんを家賃無料で提供・マネージメント
- こども食堂があったらいいなと賛同した**地域のお母さんたち**
地域課題の抽出 **kaokaoサポーターズ結成**
学校との連絡調整 子どもたちの親御さんとの連絡調整
利用者や地域の声のフィードバック のれん等の手作り

地域のお母さんから聞き取った西野の地域性 (内からの分析)

- ・給食費の納入率が高い
 - ・核家族・兄弟姉妹が少ない
 - ・両親が働いている家庭が多い
 - ・大人のいない家には友達を呼べない
 - ・迷惑をかけないことが重要
 - ・屋外の遊び場が意外に少ない
- ニーズ発見にKaokaoサポーターズ大活躍

経済的問題がなくても、
家族みんなでワイワイ
と夕食を摂ることが難
しいのでは・・・。

子どもが一人で行けて、食事をしたり遊んだり宿題をしたりできる場所
学校でも 家庭でもない 地域のこどもの居場所がほしい！



開設を決めたら、まず地域へのご挨拶

- 校区の小学校 校長先生 ポスターの掲示 声かけ
- 校区の中学校 “ ポスターの掲示
- 幼稚園・保育園 ポスターの掲示 チラシの配布
- 町内会 町内会連合会会長 女性部長 子供会 単町会長
町内会回覧板でのお知らせ
- 単町老人会
- 隣 3 軒両隣へのご挨拶
- 小学校PTAのお母さんへチラシの手渡し など

《kaokao の約束》

★DSなどの電子ゲームやトレーディングカードゲーム、おやつなどの持ち込みはできません。

★子どもたちだけでくる時は、お家の人に行き先を伝えてきてください。

kaokao にくる人たち、みんなにとって居心地のよい場所になるように、協力してくださいね。



しよくじだい
食事代：こども 300円

おとな 500円

※安全安心を心がけた、手作りの食事です。

※アレルギーには対応できません。

※子ども専用の「kaokaoパス」をご用意しています。

前払いカードです。詳しくはお問合せください。











「kaokao」開催数 及び 利用状況 (2016年7月~9月)

※子ども…18歳未満

7月 【開催日：7/6、7/13、7/20、7/27】 …計4回

130名 (子ども 103名、大人27名)

8月 【開催日：8/24、8/31】 …計2回

55名 (子ども49名、大人6名)

9月 【開催日：9/7、9/14、9/21、9/28】 …計4回

155名 (子ども121名、大人34名)



西野子ども食堂通信

kaokao (かおかお)

VOL. 2 (2016年11月5日発行)

雪かきのお手伝い大歓迎!

★11月・12月の開催日

<11月> ※23日の祝日は、お休みです。

2日(水)・9日(水)・16日(水)・30日(水)

<12月> ※28日より冬休み

7日(水)・14日(水)・21日(水)

冬期の開催について

kaokao、初めての冬です。

kaokaoは「地域の子ども達を地域で見守り、育てる」という主旨で発足した、非営利の活動です。調理をはじめ、運営はすべてボランティアで行っています。カンパ(賛同金)やボランティア等でkaokaoを支援して下さる「食堂応援団」を随時募集しています。ご協力いただけることがありましたら、ぜひ、ご連絡ください。よろしくお願いいたします。

食堂応援団募集!



子どももおとなも、安心できる場所に

Kaokaoの考える「こども食堂kaokaoの定義」

- ・子どもが一人だけで親しく利用できる自分のまちの食堂 シンプル

Kaokaoのスタッフの密かなこだわりと、小さな楽しみ

- ・年齢・居住地にこだわらない誰もが食事できる場所 オープン
- ・子どもだけで遊びに行ける近所のおうち、昭和風 なつかしさ
- ・できるだけ安心安全な食材を使いたい 安心
- ・家では体験できない食の驚きや喜びを提供したい 驚き
- ・おとなも納得の食体験として、できるだけワンプレートにまとめない 伝統



思いとニーズのマッチングを図る



地域のこどもに必要な仕組みは何なのか？
大人が力を合わせて、温かく安心な居場所を
作りませんか？

